

令和7年定例会
決算常任委員会 年間白書

令和8年4月

四日市市議会

目次

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 委員会の構成 | P 1 |
| 2. 委員会開催状況 | P 2 ~ P 8 |
| 3. 委員長報告 | P 9 ~ P 20 |
| 4. 次期予算編成に向けた提言 | P 21 ~ P 28 |

1. 委員会の構成

委員長 平野貴之

副委員長 上 麻理

委員 荒木美幸 伊世利子 石川善己

伊藤嗣也 今村厚美 太田紀子

荻須智之 小田あけみ 加納康樹

川村幸康 後藤純子 笹井絹予

笹岡秀太郎 竹野兼主 田中 徹

谷口周司 辻 裕登 中川雅晶

早川新平 日置記平 樋口博己

樋口龍馬 水谷一未 村上 暁

森 智子 森 康哲 森川 慎

諸岡 覚 山田知美

2. 委員会開催状況

決算常任委員会事項書

令和7年5月15日(木)

全員協議会室

1. 委員長の互選について

2. 副委員長の互選について

3. 分科会の設置について

4. 理事会の設置について

※配付資料 … 事項書、資料

<会議用システム内のフォルダ> 02_休会中(5～6月)－03_決算常任委員会－01_令和7年5月28日

決 算 常 任 委 員 会 事 項 書

令和7年5月28日(水)

全員協議会室

1. 理事の選任について

2. その他

(1) 休会中の決算常任委員会について

日 程 : 令和7年8月25日(月) 議案聴取会終了後

項 目 : 政策提言に係る進捗状況について

※配付資料 … 事項書、資料

<会議用システム内のフォルダ> 04_休会中（7～8月） — 03_決算常任委員会

決 算 常 任 委 員 会 事 項 書

令和7年8月25日(月)

全員協議会室

1. 政策提言に係る進捗状況について

※配付資料 … 審査順序、資料

<会議用システム内のフォルダ> 05_9月定例会議会 – 03_決算常任委員会

01_本会議

決算常任委員会 審査順序

令和7年9月25日（木）

10:00～ 全員協議会室

1. 分科会長報告

- (1) 総務分科会長報告
- (2) 教育民生分科会長報告
- (3) 産業生活分科会長報告
- (4) 都市・環境分科会長報告

2. 分科会長報告に対する質疑

- (1) 総務分科会長報告に対する質疑
- (2) 教育民生分科会長報告に対する質疑
- (3) 産業生活分科会長報告に対する質疑
- (4) 都市・環境分科会長報告に対する質疑

3. 全体会審査で取り扱う事項の追加提案

4. 全体会審査

〔審査項目〕

- (1) 民生委員児童委員協議会連合会の運営体制、及び、民生委員児童委員協議会連合会補助金の支給方法の見直しに向けた協議、検討について 〔教育民生分科会〕
- (2) 待機児童の解消に向けたさらなる取組について 〔教育民生分科会〕
- (3) 現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について 〔教育民生分科会〕
- (4) 地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について 〔産業生活分科会〕
- (5) 治水対策全般について 〔都市・環境分科会〕

5. 討論・採決

- 議案第26号 令和6年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について
- 議案第27号 令和6年度四日市市水道事業における利益の処分及び決算認定について
- 議案第28号 令和6年度市立四日市病院事業決算認定について
- 議案第29号 令和6年度四日市市下水道事業における利益の処分及び決算認定について
- 議案第30号 令和6年度四日市市農業集落排水事業における利益の処分及び決算認定について

6. その他

※配付資料 … 事項書、資料

<会議用システム内のフォルダ> 05_9月定例会議会 - 03_決算常任委員会

決 算 常 任 委 員 会 事 項 書

令和7年9月30日(火)

全員協議会室

1. 四日市市議会提言シートの確認について

※配付資料 … 事項書

<会議用システム内のフォルダ> 09_2月定例会月議会 - 03_決算常任委員会

決 算 常 任 委 員 会 事 項 書

令和8年3月17日(火)

全員協議会室

1. 令和7年定例会決算常任委員会年間白書について

3. 委員長報告

決算常任委員会委員長報告（令和7年9月定例会月議会）

決算常任委員会に付託されました関係議案につきまして、当委員会における審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、今定例会月議会の決算審査においては、各分科会にて課題等を整理の上、全体会において委員間討議を通じて意見集約を図り、次年度の予算編成に向けた政策提言として取りまとめる方針で審査を進めました。

審査においては、まず、総務、教育民生、産業生活、都市・環境の4分科会において、それぞれの所管に属する事項について詳細な審査が行われました。

続いて全体会においては、まず各分科会における審査の経過と結果についての分科会長報告があり、それに対する質疑を行いました。

次に、全体会審査においては、各分科会から政策提言に向け課題等の抽出が行われ「論点整理シート」にまとめられた5項目について、重点的に審査を行いました。

それでは、全体会審査を行った各項目について順にご報告申し上げます。

1項目めは、「民生委員児童委員協議会連合会の運営体制、及び、民生委員児童委員協議会連合会補助金の支給方法の見直しに向けた協議、検討について」であります。

教育民生分科会長からは、分科会において、民生委員児童委員のなり手不足が従前からの課題となっており、また、本市の民生委員児童委員協議会連合会補助金のうち、活動費が民生委員児童委員個人にわたるまでの支給方法が複雑であることから、これを簡素化すべきではないかとの意見があったため、民生委員児童委員協議会連合会に対する補助金の支給方法などの見直しに向けた協議、検討を求めることを論点として、政策提言に向け全体会で審査すべきと決したとの報告がありました。

委員間討議において、委員からは、理事者に対し、民生委員児童委員協議会連合会補助金の内訳を確認したいとの質疑があり、理事者からは、個々の民生委員児童委員の活動費だけでなく、例えば、民生委員児童委員全体の研修に係る費用など、民生委員児童委員協議会の運営に係る事務的な経費も含めた金額を補助金として民生委員児童委員協議会連合会に支出しているとの答弁がありました。

また、他の委員からは、現在の活動費の支給方法について、民生委員児童委員の事務負担が大きいとの声を聞いているが、民生委員児童委員協議会の事務局を市の担当部局に設置し、活動費を直接個人に支給している自治体もあることから、解消できる課題なのではないかとの意見がありました。

これを受けて、他の委員からは、理事者に対し、市の担当部局に補助金の額や支給方法についての不満の声は届いているのかとの質疑があり、理事者からは、民生委員児童委員協議会連

合会と負担軽減について協議しており、補助金の金額設定についても民生委員児童委員協議会連合会の意見を基に今年度見直しを行っているが、支給方法については、現時点で見直しを求める意見は聞いていないため、今回の委員会での意見を踏まえ、見直しが必要かどうか協議していきたいとの答弁がありました。

また、他の委員からは、活動費の支給の流れを透明化することが重要であり、その簡素化については市の意向だけでは実現できないものであることから、その点も考慮した提言とすべきであるとの意見がありました。

また、他の委員からは、民生委員児童委員のなり手不足解消のための一つ的手段として、活動費の支給方法を効率化、透明化して負担軽減を図ることが必要であり、そのための協議を行うことを促すような内容の提言としたいとの意見がありました。

また、他の委員からは、活動費の支給方法や運用方法についての議論は、民生委員児童委員協議会連合会の意見も聞きながら慎重に進める必要があるとの意見がありました。

また、他の委員からは、次年度予算への反映を求める提言として取りまとめるより、所管の委員会で継続して調査することとして、その議論の中で生じた論点を改めて提言する方がよいのではないかとこの意見がありました。

また、他の委員からは、提言の内容を次年度予算に反映することが難しいとしても、なり手不足の課題は非常に重要であり、その意味でも提言という形で残し、継続的に動向を確認してい

く必要があるとの意見がありました。

また、他の委員からは、民生委員児童委員のなり手不足解消に向けた民生委員児童委員協議会連合会との協議をさらに進めることを求めるような広い意味合いでの提言とすべきと考えるとの意見がありました。

以上の討議を経て、以下の提言を行うことについて意見集約に至りました。

政策提言。「民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けた再検討について」。

「民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けて、各関係機関と十分に協議し、その負担を軽減するために、サポート体制及び活動費のあり方の再検討を図ること。」

2項目めは、「待機児童の解消に向けたさらなる取組について」であります。

教育民生分科会長からは、分科会において、保育士不足に起因する待機児童の発生という解決が容易ではない課題に対してどのように取り組むか、また、実際に待機児童となった子供の家庭の負担をどのように軽減するかを論点として、政策提言に向け全体会で審査すべきと決したとの報告がありました。

委員間討議において、委員からは、理事者に対し、保育士不足解消のためには、あらゆる手段を用いる必要があるため、国や県の制度についても四日市市LINE公式アカウント等を活

用して広く周知するなど、国や県との連携強化を図るべきではないかとの質疑があり、理事者からは、国や県の施策についても積極的に周知していきたいとの答弁がありました。

また、他の委員からは、世の中には、低年齢児の間は自宅で子供と向き合いたくても、経済的な理由によってそれがかなわないケースもあると考えられるため、そのような家庭を経済的に支援することで、待機児童を減らすことにもつながるのではないかと考えるとの意見がありました。

また、他の委員からは、理事者に対し、私立幼稚園による2歳児こどもクラスでの預かり保育は、待機児童解消に効果的だと考えるが、幼保無償化の対象となるのは満3歳となった月の翌月からであるため、それまでの部分を市が補助することはできないのかとの質疑があり、理事者からは、2歳児保育体制の強化のための補助制度を設けている他自治体の事例も把握しているため、本市での導入の可能性について検討を進めていくとの答弁がありました。

また、他の委員からは、理事者に対し、他県の看護協会では、特定の施設に勤務するのではなく、自身のライフスタイルに合わせて働くことができるスポットナースという制度を導入しているが、このような新しい働き方を保育士でも導入して、保育士不足の解消策とできないか研究してほしいとの質疑があり、理事者からは、他業種での取組事例も参考にしたいとの答弁がありました。

また、他の委員からは、理事者に対し、仮に予算を増額すれば、待機児童の解消は可能なのかとの質疑があり、理事者からは、慢性的な保育士不足が大きな要因であるため、予算措置だけで待機児童をただちに解消することは難しいとの答弁がありました。

以上の討議を経て、以下の提言を行うことについて意見集約に至りました。

政策提言。「待機児童の解消に向けたさらなる取組について」。
「待機児童の解消に向けて、まずは、低年齢児保育の受入れ枠の拡大に向けて、現在の取組をさらに進めるとともに、新たな取組についても検討すること。その取組については、私立保育園、私立幼稚園の各団体と丁寧な協議を進め、公立・私立含めた市全体での受入れ枠の拡大、早期の待機児童の解消を目指すこと。

また、保育士確保に向けて、他自治体や他業種の事例を調査研究するとともに、将来保育士になってもらうための中高生へのアピール、保育補助者等のキャリアアップ、潜在保育士の掘り起こし、保育士の処遇改善や働きやすい職場環境のさらなる整備とサポート体制の構築、国・県との連携、情報発信などの取組をさらに進めること。」

3項目めは、「現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について」であります。

教育民生分科会長からは、分科会において、現図書館についてはハード面での課題があるが、新図書館へ移行するまでの間は、利便性の高い図書館として維持する必要がある、新図書館でも継続して活用できるソフト面への投資も行うべきであることから、現図書館の運用と予算の確保についてを論点として、政策提言に向け全体会で審査すべきと決したとの報告がありました。

以上の報告を経て、以下の提言を行うことについて意見集約に至りました。

政策提言。「現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について」。

「新図書館へ移行するまでの間、現図書館が市民に親しまれる利便性の高い施設であり続けられるよう、新図書館での活用も踏まえたソフト面での積極的な投資に加え、ハード面についても費用対効果を考慮して市民の利便性向上に資する整備を行えるよう、予算を十分に確保すること。」

4項目めは、「地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について」であります。

産業生活分科会長からは、分科会において、地域マネージャー制度については、応募者の減少により人材の安定的確保が課題となっていることから、空白地域をなくすための採用要件等の見直しを検討すること、また、地域マネージャーに期待され

る「地域課題の把握と行政への橋渡し」の役割を全地区で継続的に果たしていくため、地域住民と地区市民センターとの連携を強化することを論点として、政策提言に向け全体会で審査すべきと決したとの報告がありました。

委員間討議において、委員からは、地域マネージャー制度を廃止し、その財源を地域社会づくり総合事業費補助金に充当すべきと考えるとの意見や、制度を継続するのであれば、会計年度任用職員としてではなく正規職員としての任用に切り替えることを検討すべきであるとの意見がありました。

また、他の委員からは、理事者に対し、地域マネージャーが欠員となった場合の地域への影響を確認したいとの質疑があり、理事者からは、防災・福祉面における地域とのつながりが希薄になること、各団体への情報共有や事業への支援が十分でなくなることなどが懸念されるほか、特に防災面などについては、地域との連絡調整は主に地域マネージャーが行っており、地域マネージャーが欠員した場合、その調整を館長等が担うことになるため業務にも支障が生じるおそれがあるとの答弁がありました。

これに対して、委員からは、理事者に対し、現在、地域マネージャーが欠員となっている地区市民センターもあるが、館長の業務量が増えることなどにより、業務に支障をきたしていないかとの質疑があり、理事者からは、代替としてパートタイム会計年度任用職員を配置することで、地域マネージャーの職務を

補っており、館長等の負担も軽減しているとの答弁がありました。

また、他の委員からは、地域マネージャーは各種団体とのつなぎ役として重要な役割を担っているため、制度は継続すべきであり、人材不足であるならば現在の地域マネージャーを継続して採用できるよう、年齢要件の緩和を検討すべきであるとの意見がありました。

以上の討議を経て、以下の提言を行うことについて意見集約に至りました。

政策提言。「地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について」。

「地域マネージャーの空白地域をなくすため、採用要件等の見直しを検討すること。」

あわせて、地域マネージャー同士の連携を図りつつ、地域住民と地区市民センターを繋ぐ役割を果たすよう努力すること。」

5項目めは、「治水対策全般について」であります。

都市・環境分科会長からは、分科会において、令和7年9月12日に発生した大雨災害において、市内各地で浸水被害が発生したことを受け、部局横断的に市内全域の治水対策が求められることから、ソフト、ハード両面で実効性のある対応の検討と実施についてを論点として、政策提言に向け全体会で審査すべきと決したとの報告がありました。

委員間討議において、委員からは、ワンコイン浸水センサを用いて浸水の詳細な状況を確認できないのかとの質疑があり、理事者からは、センサは道路面と同じ高さに設置されており、このセンサが水に浸かった際にメールが発信される仕組みだが、浸水深などの詳細な状況は把握できないとの答弁がありました。

以上の議論を経て、以下の提言を行うことについて意見集約に至りました。

政策提言。「治水対策全般について」。

「令和7年9月12日発生した豪雨による浸水被害を受け、部局横断的にさらなる治水対策が求められることから、ソフト、ハード両面で実効性のある対応を検討し実施すること。」

以上の経過により、当委員会に付託されました議案第26号 令和6年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、ないし、議案第30号 令和6年度四日市市農業集落排水事業における利益の処分及び決算認定についての5議案につきましてはいずれも別段異議なく、認定すべきものと決した次第であります。

最後に、今定例月議会の決算審査において、当委員会にて取りまとめた提言については、本日、議長に政策提言実施に係る申し入れを行い、当市議会からの「政策提言」として市長に提言されましたことを申し添えます。

これをもちまして、決算常任委員会の審査報告といたします。

4. 次期予算編成に向けた提言

四日市市議会

提言シート

(1) 民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けた再検討について

(2) 待機児童の解消に向けたさらなる取組について

(3) 現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について

(4) 地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について

(5) 治水対策全般について



令和7年10月6日

○ 四日市市議会提言シート

— 目次 —

- (1) 民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けた再検討について …P3
- (2) 待機児童の解消に向けたさらなる取組について …P4
- (3) 現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について …P5
- (4) 地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について …P6
- (5) 治水対策全般について …P7

※備考

各提言シートの末尾に、参考として、以下の分類に基づく決算常任委員会における事業実施に関する意見を付記した。

【事業実施に関する意見】

分類	備考
①廃止	次年度事業費予算に関連するもの
②縮小	
③拡大	
④新規事業の実施	
⑤その他	事業実施手法の見直し など

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和7年9月定例会議会 決算常任委員会)

No. 1

事業名	民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けた再検討について	
事業概要	民生委員・児童委員の活動を支援するため、四日市市民生委員児童委員協議会連合会に対して、各地区の民生委員児童委員協議会の地区活動費、民生委員児童委員の活動費、事務費を含む補助金を支出している。	
	決算額	民生委員児童委員協議会連合会補助金 29,588,740 円
次年度予算への提言		
<提言> 民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けた再検討について 民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けて、各関係機関と十分に協議し、その負担を軽減するために、サポート体制及び活動費のあり方の再検討を図ること。 ※参考 事業実施に関する意見 ⑤その他（事業実施手法の見直し）		

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和7年9月定例会議会 決算常任委員会)

No. 2

事業名	待機児童の解消に向けたさらなる取組について	
事業概要	<p>就学前教育・保育については、共働き家庭の増加や幼児教育・保育の無償化の影響もあり、保育ニーズの高い傾向は依然として続いている。</p> <p>こうした中、私立保育園・認定こども園との連携を図りながら延長保育や一時保育等の特別保育を実施して、保護者の働き方に応じた多様な保育ニーズへの対応を図るとともに、私立園の改修工事への補助や小規模保育施設の新規認可を行い、保育環境及び提供体制の充実を図った。</p> <p>私立幼稚園に対しては、教育環境の向上と安全の確保を図るため、園運営に係る費用の補助を行うとともに、幼児教育・保育の無償化実施に伴って、保育の必要性の認定事由に該当する保護者には、預かり保育の利用料に対する給付を行った。</p> <p>また、四日市市幼児教育センターにおいて、研修体制の強化やアウトリーチ型の訪問支援、情報発信・研究などを行い、公立・私立を含めた市全体の就学前教育・保育の質の向上や小学校への円滑な接続につながる教育・保育内容の充実を図った。</p>	
	決算額	保育士等人材確保事業費 11,828,700 円 幼児教育推進事業費 6,998,177 円 保育所費 10,004,632,109 円
次年度予算への提言		
<p><提言> 待機児童の解消に向けたさらなる取組について</p> <p>待機児童の解消に向けて、まずは、低年齢児保育の受入れ枠の拡大に向けて、現在の取組をさらに進めるとともに、新たな取組についても検討すること。その取組については、私立保育園、私立幼稚園の各団体と丁寧に協議を進め、公立・私立含めた市全体での受入れ枠の拡大、早期の待機児童の解消を目指すこと。</p> <p>また、保育士確保に向けて、他自治体や他業種の事例を調査研究するとともに、将来保育士になってもらうための中高生へのアピール、保育補助者等のキャリアアップ、潜在保育士の掘り起こし、保育士の処遇改善や働きやすい職場環境のさらなる整備とサポート体制の構築、国・県との連携、情報発信などの取組をさらに進めること。</p> <p style="text-align: center;">※参考 事業実施に関する意見 ⑤その他（事業実施手法の見直し）</p>		

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和7年9月定例月議会 決算常任委員会)

No. 3

事業名	現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について	
事業概要	<p>図書館においては、市民、地域に役立つ図書館を目指し、子どもから高齢者、また多様な興味や関心を持つ人たちのニーズに対応できるよう、幅広く豊富な蔵書や資料の充実に努めた。また、令和7年2月の図書館情報システムの更新に合わせ、新たにICタグによる図書管理を開始し、利用者サービスの向上を図った。図書館への来館が困難な方等へのアウトリーチサービスについては、令和5年度に開始した「よっかいち電子図書館」サービスの利用拡大に努めるとともに、老朽化した移動図書館車「かもめ号」を更新し、図書館サービスを地域に届けられるよう努めた。</p>	
	決算額	<p>図書資料整備費 34,444,709 円 人権啓発拠点推進事業費 860,376 円 図書館維持管理費 50,643,230 円 移動図書館運営費 33,846,238 円 図書管理システム運営費 83,731,745 円 電子図書館運営費 14,886,385 円</p>
次年度予算への提言		
<p><提言> 現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について 新図書館へ移行するまでの間、現図書館が市民に親しまれる利便性の高い施設であり続けられるよう、新図書館での活用も踏まえたソフト面での積極的な投資に加え、ハード面についても費用対効果を考慮して市民の利便性向上に資する整備を行えるよう、予算を十分に確保すること。</p> <p style="text-align: center;">※参考 事業実施に関する意見 ⑤その他（事業の継続的な実施）</p>		

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和7年9月定例会議会 決算常任委員会)

No. 4

事業名	地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について	
事業概要	様々な地域活動の経験や民間企業等での就業経験を有する者を地域マネージャーとして任用し、地域住民とのコミュニケーションを図りながら、地域団体の自主的、自立的な活動が行われるよう指導・助言等の運営支援や、地域課題の解決に向けて地域と連携し、各地区の地域社会づくりの推進を支援する。	
	決算額	地区市民センター管理運営費 268,221,546 円
次年度予算への提言		
<p><提言> 地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について</p> <p>地域マネージャーの空白地域をなくすため、採用要件等の見直しを検討すること。</p> <p>あわせて、地域マネージャー同士の連携を図りつつ、地域住民と地区市民センターを繋ぐ役割を果たすよう努力すること。</p> <p style="text-align: right;">※参考 事業実施に関する意見 ③拡大</p>		

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和7年9月定例会議会 決算常任委員会)

No. 5

事業名	治水対策全般について	
事業概要		
	決算額	
次年度予算への提言		
<p><提言> 治水対策全般について</p> <p>令和7年9月12日に発生した豪雨による浸水被害を受け、部局横断的にさらなる治水対策が求められることから、ソフト、ハード両面で実効性のある対応を検討し実施すること。</p> <p style="text-align: right;">※参考 事業実施に関する意見 ③拡大</p>		